

エム・シー・ヘルスケア

## 恒例イベント—病院経営に関連する5講演を開催

エム・シー・ヘルスケアは2023年12月15日、品川シーズンテラス（東京・港区）にて、第24回「病院の経営を考える会」を開催した。4年ぶりにリアル開催となった同会では、午前中に2つのワークショップを同時開催し、午後には3講演が行われた。

ワークショップ1では、長 英一郎氏（東日本税理士法人）が「同時改定に備えて押さえておくべきポイント」をテーマに講演。同氏は、前半で病院経営の中長期的な戦略、後半では2024年の診療報酬と介護報酬の同時改定について述べ、最後に病院での働き方改革に触れて「大きな役割を果たすのが生成AI及びChatGPTと考える」と語った。

ワークショップ2では、藤川敏行氏（倉敷中央病院）が「DX推進のための組織づくりと運営」を演題に講演した。同氏は、医療情報システムの現況並びに課題を語った後、自院で実践する数々の対策の概要を説明。DX推進において病院情報システムに求められる要件として、「病院主導のIT推進、情報基盤の整備をベンダ任せにしないことが重要だ。また、IT資源の最適化を常に考慮す

ることもポイントとなる」と述べた。

午後の講演会では、まず杉村和朗氏（兵庫県病院事業管理者）が登場し、「病院の未来を見据えて」再編統合による地域貢献」を演題に講演。自治体病院を核とした病院の再編統合に関わってきた経験をもとに、兵庫県における事例の概要や直面した課題、新病院の概況並びに展望等について語った。

同氏は兵庫県で統合再編が進められた経緯や理由などを述べた後、「県立病院同士」や「県立病院と民間病

院」などケース別に病院統合を紹介。その活動から、「統合再編には大学の医師派遣機能が医療行政に大きな影響力を持つため、現時点ではこれをうまく利用することが重要だ。また、若手医師、特に研修医が集まる病院となることも重要になる」と語った。

続いて矢部輝夫氏（おもてなし創造カンパニー）が「『奇跡の職場』への大改革」について講演した。同氏は、「7-minute miracle!」をスローガンに、新幹線の列車到着から発車までの12分間のうち7分間で清掃業務を完璧に行う体制を構築した社内改革を解説。その実現に貢献した8つのシナリオについて述べ、「経営者と従業員が未来を自ら創り上げる仲間同士として知恵を出し合った成果である」と締めくくった。

最後に矢野燿大氏（阪神タイガース前監督）が「可能性を信じきるチームマネジメント」について講演した。

同氏は、「こちらの本気の気持ちが伝わった時、相手の可能性は必ず変わると信じて選手たちと戦ってきた」と監督時代を回顧。その成果の例を、2023年に大活躍した木浪聖也遊撃手など指導した選手を挙げて紹介し、「今後は野球教室を通じて、子供たちの心がしっかり育ち、未来の可能性を伸ばしていける指導をしていきたい」と抱負を語った。



長氏

藤川氏

杉村氏

矢部氏

矢野氏



午前には別会場で2つのワークショップを開催。ともに講演の後に質疑応答やディスカッションが行われた



午後には杉村和朗氏を始め3講演を開催。杉村氏は兵庫県における病院の再編統合について語った